

# 解剖学

年次	学期	学則科目責任者
2年次	通年	近藤 信太郎 (解剖学)

学修目標 (G I O) と 単位数	<p>・単位数：7</p> <p>・学修目標 (G I O)：歯科医学の基礎となる人体の構造を理解し、ヒトのからだの一般的な形態を説明できる。講義においては各器官系の系統解剖学を学修して、人体の全体的・系統的な構造を習得する。骨学および解剖実習においては人体構造の個体差と変異を理解し、臨床に必要な局所解剖学の知識を習得する。</p>
担当教員	近藤 信太郎、佐々木 佳世子、松野 昌展、五十嵐 由里子、金田 隆、坂巻 達夫、近藤 壽郎、河相 安彦、大峰 浩隆、小見山 道、丹羽 秀夫、村上 洋、吉垣 純子、加藤 治、横山 愛、野本 たかと、遠藤 眞美、矢口 学、※伊藤 泰司
教科書	口腔解剖学 第2版 脇田 稔、井出吉信監修 医歯薬出版 プラクティカル解剖実習 四肢 体幹 頭頸部 千田隆夫、小林一也 丸善出版 イラスト顎顔面解剖学 松村譲児、島田和幸 中外医学社
参考図書	入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂 解剖学カラーアトラス 横地千俣 医学書院 グレイ解剖学 原著第3版 塩田浩平、瀬口春道、大谷浩、杉本哲夫 訳 エルゼビア・ジャパン ネッター頭頸部・口腔顎顔面部の臨床解剖学アトラス 前田健康監訳 医歯薬出版 プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部 坂井建雄、天野修 監訳 医学書院 プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第2版 坂井建雄、河田光博 監訳 医学書院 ヴォルフ カラー人体解剖学図譜 Peter Kopf-Maier 井上貴央 西村書店
実習器材	解剖実習用ガウン (約7,000円)、解剖実習室用長靴 (約2,000円)、防毒マスク (ホルムアルデヒド吸収缶を含む、約7,000円)、ゴーグル、メス替刃、ディスプレイキャップ、グローブ。(前学期の講義の際に後学期実習に必要なガウンと長靴のサイズの確認と注文を行う。キャップ、マスク、グローブ、メスの替刃などの消耗品も同時に注文する。)
評価方法 (E V)	<p>【講義】2回の平常試験の合計によって評価する。ただし、1回目40%、2回目60%の比率とする。</p> <p>【実習】実習室で実施するご遺体の解剖名称等を解答するものと教室で実施する学修課題の設問に解答するものの2種類の平常試験を2回行う。平常試験は1回目40%、2回目60%として、2回の合計によって評価する。ただし、課題の未提出や遅提出および欠席を含む実習態度の不良が認められた場合は減点する。</p> <p>講義と実習の評価を各50%として総合評価をする。講義・実習それぞれ1/5以上を欠席した場合、評価点は0-60点とする。なお、講義・実習のそれぞれについて合格点 (60点) に達しない者に対し、再試験を行うが、講義・実習を1/5以上欠席した場合、再試験の受験資格を与えない。また、講義・実習のいずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>解剖学は医学・歯科医学の臨床において、最も基本的で必須の知識であり、人体の構造を知らない者が臨床に携わることは許されない。全身の解剖学を学ぶための時間は十分とは言えないが、与えられた時間を十分に活用し、正確な知識を身につけて欲しい。前学期の系統解剖学の講義では予習より復習に重点を置いた学習が効果的である。後学期の解剖実習では篤志家によって献体いただいたご遺体を解剖させていただくことにより、前学期に座学で学んだ知識を確実なものとすると共に局所解剖の知識を学修する。必ず予習をして観察すべき構造の知識を正確なものとしておくこと。実習は解剖学の知識を身につけると同時に、医療者としての倫理観を学ぶ場でもある。諸君はご遺体に恥じぬよう真摯に学ばなくてはならない。</p> <p>10月27日 (土) に築地本願寺において解剖体追悼法要が行われる。死後ご自身の体を解剖実習に供された方々に追悼と感謝を捧げる機会となる。必ず出席すること。</p> <p>後学期実習期間中に生理学講座、障害者歯科学講座と合同でグループ学習を行う。将来、重要な知識となる摂食嚥下の基礎・臨床の統合演習なので、しっかり学修して欲しい。</p> <p>オフィスアワーは講義・実習の行われた日の授業後とする。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/05 (木) 1時限 09:00~10:30	人体解剖学総論	<p>【授業の一般目標】 ヒトの体の成り立ちを理解し、身体の部位・方向用語を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 細胞から器官系にいたる人体の階層構造を説明できる。 2. 人体の全身の区分を説明できる。 3. 医学・歯学で使われる人体の方向用語やその他の特殊な解剖用語を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」解剖用語 P. 1~4、頭頸部の体表 P. 89~93を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/05 (木) 1時限 09:00～10:30	人体解剖学総論	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ア 頭頸部の部位</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-1) 身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/04/09 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 総論	<p>【授業の一般目標】 全身の骨格を学ぶために骨の形態的特徴を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 骨の形態的特徴と機能的意味を説明できる。 2. 骨の発生を説明できる。 3. 骨の連結を説明できる。 4. 全身の骨格を説明できる。 5. 全身の主な関節を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」骨学総論 P.5～17, 関節学総論 P.31～36を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 ②骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。 ④骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/04/09 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 脊柱	<p>【授業の一般目標】 脊柱の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 脊柱の構造を説明できる。 2. 椎骨の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」椎骨 P.7～10を通読する。 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨 4 頭頸部の構造</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/09 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 脊柱	イ 頭頸部の骨格系 c 頸椎  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。	近藤 信太郎
2018/04/12 (木) 1時限 09:00～10:30	骨格系 体幹・四肢	【授業の一般目標】 胸郭、骨盤、四肢の各骨の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 胸郭と骨盤を構成する骨の構造を説明できる。 2. 上肢を構成する骨の構造を説明できる。 3. 下肢を構成する骨の構造を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 「入門人体解剖学 第2版」肋骨・胸骨 P.10～11、上肢骨・下肢骨 P.11～17を通読する。 30分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。	五十嵐 由里子
2018/04/16 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (頭蓋の概観・脳頭蓋)	【授業の一般目標】 頭蓋骨各部の構造を説明できる。脳頭蓋の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋を構成する骨を説明できる。 2. 脳頭蓋と顔面頭蓋を説明できる。 3. 頭蓋冠と頭蓋底を説明できる。 4. 新生児頭蓋の特徴を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」頭蓋、脳頭蓋 P.94～107を通読する。 30分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/16 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 総論	<p>【授業の一般目標】 骨格筋の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 骨格筋の構造を説明できる。 2. 筋の作用を説明できる。 3. 筋の付属器の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」筋学総論 P. 18～19を通読する。 20分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 b 筋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2018/04/19 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 体幹の筋 (1)	<p>【授業の一般目標】 骨学で学習した脊柱や胸郭に関する知識を基に、背部、胸部に存在する筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明できる。 2. 胸部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」頸部の筋・背部の筋・胸部の筋 P. 19～23を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 b 筋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2018/04/23 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (顔面頭蓋)	<p>【授業の一般目標】 顔面頭蓋を構成する各骨の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ヒト頭蓋の特徴が説明できる。 2. 各顔面骨の特徴を説明できる。 3. 顔面の加齢変化を説明できる。</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/23 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (顔面頭蓋)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」顔面頭蓋 P.107～117 加齢と歯の喪失に伴う顎骨の変化 P.202～207を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/04/23 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 体幹の筋 (2)	<p>【授業の一般目標】 骨学で学習した脊柱などの知識を基に、横隔膜、腹部に存在する筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 横隔膜の構造と機能を説明できる。 2. 腹部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」胸部の筋・腹部の筋 P.22～24を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 b 筋</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2018/04/26 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 上肢と下肢 の筋	<p>【授業の一般目標】 骨学で学習した上肢と下肢の骨の知識を基に、上肢と下肢の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上肢の筋の構造と機能を説明できる。 2. 下肢の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」上肢の筋・下肢の筋 P.24～30を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、</p>	五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/26 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 上肢と下肢 の筋	<p>消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢            1 細胞・組織・器官の構造と機能            イ 運動・骨格系            b 筋</p> <p>【コアカリキュラム】            C 生命科学            C-3 人体の構造と機能            C-3-4) 身体を構成する組織と器官            C-3-4) - (3) 筋組織と筋系            ①筋組織の分類と分布を説明できる。            ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2018/05/07 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (眼窩, 鼻腔, 骨 口蓋, 翼口蓋窩)	<p>【授業の一般目標】            頭蓋各部の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 眼窩の構造を説明できる。            2. 鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。            3. 翼口蓋窩の構造を説明できる。            4. 骨口蓋の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            「口腔解剖学 第2版」眼窩, 鼻腔, 骨口蓋, 翼口蓋窩 P. 117～120を通読する。            30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            無</p> <p>【学修方略（LS）】            講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】            102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢            4 頭頸部の構造            イ 頭頸部の骨格系            a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢            4 頭頸部の構造            イ 頭頸部の骨格系            b 頭蓋骨（関節、靭帯を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学            E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患            E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能            ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/05/07 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋)	<p>【授業の一般目標】            頭蓋の筋の走行を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 表情筋の構造を説明できる。            2. 咀嚼筋の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            「口腔解剖学 第2版」頭部の筋 P. 121～126 義歯と筋 P. 219～223を通読する。            30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            無</p> <p>【学修方略（LS）】            講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】            102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢            4 頭頸部の構造            ウ 頭頸部の筋系            a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢            4 頭頸部の構造            ウ 頭頸部の筋系            b 咀嚼筋</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/07 (月) 2時限 10:40～12:10	筋系 頭部の筋 (表情筋・咀嚼筋)	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎
2018/05/10 (木) 1時限 09:00～10:30	筋系 頭部の筋 (舌骨筋群・胸鎖乳突筋)	【授業の一般目標】 頸部の筋の構造と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 舌骨上筋群の走行を説明できる。 2. 舌骨下筋群の走行を説明できる。 3. 舌骨筋群のはたらきを説明できる。 4. 胸鎖乳突筋の走行とはたらきを説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」頸部の筋 P.127～129を通読する。 30分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 c 浅頸筋  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎
2018/05/14 (月) 1時限 09:00～10:30	骨格・筋系 顎関節と顎運動	【授業の一般目標】 顎関節の構造を説明できる。下顎骨を動かす筋のはたらきを説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の構造と機能を説明できる。 2. 顎運動に関与する歯のはたらきを説明できる。 3. 舌骨を動かす筋のはたらきを説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」顎関節 P.130～132 咀嚼筋 P.124～125 舌骨上筋 P.127～128を通読する。 30分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋 c 浅頸筋  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎
2018/05/14 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 頭蓋骨 (実習1)	【授業の一般目標】 頭蓋骨全体の各部の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 脳頭蓋と顔面頭蓋の構造が説明できる。 2. 内頭蓋底と外頭蓋底の構造が説明できる。 3. 蝶形骨と側頭骨の構造が説明できる。 4. 眼窩・鼻腔・副鼻腔の構造を説明できる。 5. 翼口蓋窩の構造が説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/14 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 頭蓋骨 (実習1)	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」頭頸部の骨 P.94～120 頭頸部の筋 P.121～129を復習する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 頭蓋骨を観察して、座学の知識を総括する。</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨(関節、靭帯を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/05/17 (木) 1時限 09:00～10:30	骨格系 頭蓋骨 (画像解剖学)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造と臨床画像との関連を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 頭蓋骨全体像を説明できる。 2. 頭蓋骨と臨床画像の関係を説明できる。 3. 頭蓋骨の断面画像を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」画像解剖学 P.237～248を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨(関節、靭帯を含む) a 画像解剖</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。</p>	金田 隆 五十嵐 由里子
2018/05/21 (月) 1時限 09:00～10:30	筋系 頸部の三角 と筋膜隙	<p>【授業の一般目標】 頸部の筋の走行を理解し、それぞれの筋の位置の関係と頸部の三角と筋膜隙を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 頸部の三角を説明できる。 2. 頸部の筋膜隙を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」頭頸部の体表 P.89～93 感染・炎症と隙 P.224～231を通読する。 20分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p>	近藤 信太郎



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/21 (月) 1時限 09:00～10:30	筋系 頸部の三角 と筋膜隙	<p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 c 浅頭筋</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 キ 頭頸部の局所解剖 b 組織隙〈筋膜隙〉</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/05/21 (月) 2時限 10:40～12:10	骨格系 頭蓋骨 (実習2)	<p>【授業の一般目標】 頭蓋骨を構成する各骨の構造を説明できる。咀嚼筋の起始と停止を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋を構成する各骨の構造を説明できる。 2. 咀嚼筋の起始と停止を説明できる。 3. 顎関節の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」骨学総論 P.5～17 顎関節 P.130～132を復習する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有 頭蓋骨を観察して、座学の知識を総括する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/05/24 (木) 1時限 09:00～10:30	呼吸器系 (総論) (鼻・副鼻腔)	<p>【授業の一般目標】 呼吸器系の概略と外鼻の構造を説明できる。鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 気道の構造を説明できる。 2. 鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」呼吸器系 P.188～192を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 a 気道、肺、呼吸筋</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/24 (木) 1時限 09:00～10:30	呼吸器系 (総論) (鼻・副鼻腔)	【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎
2018/05/28 (月) 3時限 13:10～14:40	平常試験 1	【授業の一般目標】 総論と運動器  【行動目標 (SBOs)】 1. 解剖学の総論を説明できる。 2. 全身の骨格系の構造を説明できる。 3. 頭蓋骨の構造を説明できる。 4. 全身の筋の構造と機能を説明できる。 5. 頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 解剖学の総論、骨格系筋の構造と機能の復習。 3時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、 消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系)  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 イ 運動・骨格系 a 骨 b 筋 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む) a 顔面筋 <表情筋> b 咀嚼筋 c 浅頭筋  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-1) 身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/05/28 (月) 4時限 14:50～16:20	平常試験 1 の解説	【授業の一般目標】 総論と運動器  【行動目標 (SBOs)】 1. 解剖学の総論を説明できる。 2. 全身の骨格系の構造を説明できる。 3. 頭蓋骨の構造を説明できる。 4. 全身の筋の構造と機能を説明できる。 5. 頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 解剖学の総論、骨格系筋の構造と機能の復習。 3時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/28 (月) 4時限 14:50～16:20	平常試験1の解説	<p>ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢            1 細胞・組織・器官の構造と機能            イ 運動・骨格系            a 骨            b 筋            4 頭頸部の構造            ア 頭頸部の部位            a 頭蓋            b 頭蓋骨（関節、靭帯を含む）            a 顔面筋〈表情筋〉            b 咀嚼筋            c 浅頭筋</p> <p>【コアカリキュラム】            C 生命科学            C-3 人体の構造と機能            C-3-1 身体の部位と方向用語            ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。            C-3-4 身体を構成する組織と器官            C-3-4-（2）支持組織と骨格系            ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。            C-3-4-（3）筋組織と筋系            ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。            E 臨床歯学            E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患            E-2-1 頭頸部の基本構造と機能            ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。            ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。            ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/05/29 (火) 3時限 13:10～14:40	平常試験1の解説	<p>【授業の一般目標】            総論と運動器</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1.解剖学の総論を説明できる。            2.全身の骨格系の構造を説明できる。            3.頭蓋骨の構造を説明できる。            4.全身の筋の構造と機能を説明できる。            5.頭頸部の筋の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            解剖学の総論、骨格系筋の構造と機能の復習。            3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            無</p> <p>【学修方略（LS）】            講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】            102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            必修の基本的事項            5 人体の正常構造・機能            ア 全身・口腔の構造と機能            e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学総論            総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢            1 細胞・組織・器官の構造と機能            イ 運動・骨格系            a 骨            b 筋            4 頭頸部の構造            ア 頭頸部の部位            a 頭蓋            b 頭蓋骨（関節、靭帯を含む）            a 顔面筋〈表情筋〉            b 咀嚼筋            c 浅頭筋</p> <p>【コアカリキュラム】            C 生命科学            C-3 人体の構造と機能            C-3-1 身体の部位と方向用語            ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。            C-3-4 身体を構成する組織と器官            C-3-4-（2）支持組織と骨格系            ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。            C-3-4-（3）筋組織と筋系            ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。            E 臨床歯学            E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患            E-2-1 頭頸部の基本構造と機能</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/29 (火) 3時限 13:10～14:40	平常試験1の解説	②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎
2018/06/04 (月) 1時限 09:00～10:30	呼吸器系(咽頭 [扁桃を含む]・ 喉頭)	<p>【授業の一般目標】 咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」咽頭 P.184～188 喉頭 P.192～194を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/06/04 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 総論(1)・ 脊髄	<p>【授業の一般目標】 神経系の構成、区分、機能的分類などを説明できる。脊髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ニューロンとシナプスを説明できる。 2. 白質、灰白質、神経節を説明できる。 3. 脊髄の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頭蓋腔・脊柱管の構造を確認する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、 消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。 ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。</p>	松野 昌展
2018/06/07 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 総論・ 口腔(1)	<p>【授業の一般目標】 消化器系の構成を説明できる。口腔の構成、口唇、頬の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 消化器系の全体像を説明できる。 2. 口腔の区分を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「口腔解剖学 第2版」頭頸部の体表 P.89～91、口腔 P.170～172を通読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示、資料配布</p> <p>【学修方略(LS)】</p>	佐々木 佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/07 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 総論・ 口腔 (1)	講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、 消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ②口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。	佐々木 佳世子
2018/06/11 (月) 1時限 09:00～10:30	呼吸器 (気管・ 気管支・肺・胸膜)	【授業の一般目標】 気管および肺の構造と機能を説明できる。胸腔および胸膜の構造を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 気管の構造と機能を説明できる。 2. 気管支の構造と機能を説明できる。 3. 肺の構造と機能を説明できる。 4. 縦隔、胸腔のおよび胸膜の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」気管・気管支と肺 P.194～195 体腔 P.86を通読する。 30分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器系の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 a 気道、肺、呼吸筋 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。	近藤 信太郎
2018/06/11 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳 (1)	【授業の一般目標】 脳幹、小脳の構造と機能を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 延髄の構造と機能を説明できる。 2. 橋の構造と機能を説明できる。 3. 中脳の構造と機能を説明できる。 4. 脳神経核を説明できる。 5. 小脳の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：神経系総論の復習をする。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 102教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/11 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳 (1)	<p>5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。</p>	松野 昌展
2018/06/14 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 口腔 (2)	<p>【授業の一般目標】 口蓋、口峽、口腔底、舌の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口蓋の構造と機能を説明できる。 2. 舌の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 一部はすでに前回の講義で学習しているが、「口腔解剖学第2版」口腔 P.170～178 を通読する。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示、資料配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔 c 舌、扁桃</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。</p>	佐々木 佳世子
2018/06/18 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 総論・心臓	<p>【授業の一般目標】 循環器系の概要を説明できる。心臓の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 動脈と動脈血、静脈と静脈血の違いを説明できる。 2. 心臓の構造と機能を説明できる。 3. 肺循環と体循環の違いを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」脈管学総論 P.37～48を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/18 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳 (2)	<p>【授業の一般目標】 間脳と大脳半球の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 大脳皮質の構造と機能を説明できる。 2. 大脳基底核の構造と機能を説明できる。 3. 大脳内の線維の走行を説明できる。 4. 脳の機能局在を説明できる。 5. 間脳の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：前回までの神経系の講義の復習をする。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。</p>	松野 昌展
2018/06/21 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 口腔(3)	<p>【授業の一般目標】 唾液腺の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液腺の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「口腔解剖学 第2版」唾液腺 P.178～184を通読する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示、資料配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 b 唾液腺</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。</p>	佐々木 佳世子
2018/06/25 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 (大循環と静脈系)	<p>【授業の一般目標】 血管の一般構造を説明できる。体幹、体肢の動・静脈の分布領域を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 動脈、静脈、リンパ管の構造を説明できる。 2. 大動脈の分枝を説明できる。 3. 体幹、体肢の動・静脈の分布領域を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」血液の循環 P.48～52を通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/25 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 (大循環と静脈系)	<p>無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ③血管の構造と血圧調節機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/06/25 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脊髄神経	<p>【授業の一般目標】 末梢神経の形態と機能、脊髄神経の分布、機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 末梢神経の構造と機能を説明できる。 2. 脊髄神経の分布を説明できる。 3. 神経叢の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：脊柱管と脊髄の構造を復習する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 b 脊髄神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	松野 昌展
2018/06/28 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 咽頭・食道・胃・腸	<p>【授業の一般目標】 咽頭の構造を説明できる。食道の構造を説明できる。胃の構造を説明できる。小腸、大腸の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭の構造と機能を説明できる。 2. 食道の構造と機能を説明できる。 3. 胃の構造と機能を説明できる。 4. 小腸の構造と機能を説明できる。 5. 大腸の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「口腔解剖学 第2版」咽頭 P.184～188 を通読する。食道、胃、小腸、大腸については配布資料あるいは参考図書で準備学修をする。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示、資料配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論</p>	佐々木 佳世子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/28 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 咽頭・ 食道・胃・腸	総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 エ 消化器系 a 消化管  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。	佐々木 佳世子
2018/07/02 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系 (頭頸部 の血管)	【授業の一般目標】 頭頸部の動・静脈の分布を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総頸動脈の枝の分布を説明できる。 2. 外頸動脈の枝の分布を説明できる。 3. 頭頸部の動脈と静脈の分布の違いを説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」頭頸部の血管 P.133～139を通読する。 20分。  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	近藤 信太郎
2018/07/02 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (1) ・感覚器 (視覚)	【授業の一般目標】 脳神経Ⅰ～Ⅳ、Ⅵの分布と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 嗅神経の構造と機能を説明できる。 2. 視神経の構造と機能を説明できる。 3. 眼球を動かす筋の神経支配を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2人以上で組んで眼球の動きと明暗による瞳孔の大きさの変化を観察する。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。	松野 昌展
2018/07/05 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 消化腺・ 腹膜	【授業の一般目標】 肝臓、胆嚢、膵臓の構造を説明できる。腹部漿膜の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 肝臓と胆嚢の構造と機能を説明できる。 2. 膵臓の構造と機能を説明できる。	佐々木 佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/05 (木) 1時限 09:00～10:30	消化器系 消化腺・ 腹膜	<p>3. 腹膜の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：配布資料あるいは参考図書で準備学修をする。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示、資料配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 エ 消化器系 b 肝臓、胆道、膵臓</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (7) 消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。</p>	佐々木 佳世子
2018/07/09 (月) 1時限 09:00～10:30	循環器系（リン パ系・胎生期循環）	<p>【授業の一般目標】 リンパ系を説明できる。頭頸部の所属リンパ節を説明できる。胎生期循環の特徴を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. リンパ系の本幹を説明できる。 2. 所属リンパ節を説明できる。 3. 胎生期循環を説明できる。」</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」リンパ系 P. 53～58 頭頸部のリンパ P. 139～144を 通読する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/07/09 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (2)	<p>【授業の一般目標】 脳神経Ⅴ、Ⅶの分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 三叉神経の分布と機能を説明できる。 2. 顔面神経の分布と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：内頭蓋底と眼窩、翼口蓋窩、鼻腔、口腔の構造、位置関係を復習する。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/09 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (2)	<p>【場所(教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	松野 昌展
2018/07/12 (木) 1時限 09:00～10:30	循環器系 心臓の 臨床	<p>【授業の一般目標】 循環器系の構造と疾患の関連を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.心臓の構造を説明できる。 2.血液の循環を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「口腔解剖学 第2版」脈管学総論P.37～48を復習する。 30分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、 消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 b 心臓、脈管系 総論Ⅵ 検査 4 生体機能検査 ア 臓器機能検査 b 心機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ③血管の構造と血圧調節機能を説明できる。</p>	坂巻 達夫 近藤 信太郎
2018/07/19 (木) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳神経 (3)・感覚器 (聴覚・平衡覚)	<p>【授業の一般目標】 脳神経Ⅶ～Ⅸの分布と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.内耳神経の分布と機能を説明できる。 2.舌咽神経の分布と機能を説明できる。 3.内耳の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:側頭骨の構造を復習する。 ・準備学修時間:30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p>	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/19 (木) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳神経 (3)・感覚器 (聴覚・平衡覚)	E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。	松野 昌展
2018/07/21 (土) 1時限 09:00～10:30	神経系 脳神経 (4)	【授業の一般目標】 脳神経Ⅹ～Ⅻの分布と機能を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 迷走神経の分布と機能を説明できる。 2. 副神経の分布と機能を説明できる。 3. 舌下神経の分布と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：舌、咽頭、喉頭、食道の構造を復習する。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	松野 昌展
2018/07/21 (土) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (5) 骨実習	【授業の一般目標】 脳神経の経路を理解するために頭蓋骨を観察し、脳神経の分布経路を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 脳神経が頭蓋腔を出る通路を説明できる。 2. 三叉神経の頭蓋骨内の経路を説明できる。 3. 顔面神経の頭蓋骨内の経路を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：脳神経の講義内容を復習する。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 頭蓋骨を観察して、脳神経の経路を総括する。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/07/23 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 総論 (2)	【授業の一般目標】 中枢神経の内部、外部の構成を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 基本的な運動神経と感覚神経の伝導路を説明できる。 2. 脳室と脳脊髄液の循環を説明できる。 3. 髄膜を説明できる。 4. 脳の栄養動脈の分布を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：総頸動脈、鎖骨下動脈、内頸静脈の分布を復習する。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/23 (月) 1時限 09:00～10:30	神経系 総論 (2)	<p>アクティブラーニング 無 黒板の板書が基本で、必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。</p>	松野 昌展
2018/07/23 (月) 2時限 10:40～12:10	神経系 脳神経 (6) 骨実習	<p>【授業の一般目標】 脳神経の経路を理解するために頭蓋骨を観察し、脳神経の分布経路を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 内頭蓋底の構造が説明できる。 2. 外頭蓋底の構造が説明できる。 3. 翼口蓋窩と周囲の交通が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 頭蓋骨の構造を復習する。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 頭蓋骨を観察して、脳神経の経路を総括する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/08/27 (月) 3時限 13:10～14:40	平常試験 2	<p>【授業の一般目標】 神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 各器官系の構造と機能を総復習する。 3時間。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/08/27 (月) 3時限 13:10～14:40	平常試験 2	<p>a 気道、肺、呼吸筋 b 心臓、脈管系 a 消化管 b 肝臓、胆道、膵臓 4 頭頸部の構造 エ 頭頸部の脈管系 c リンパ系 a 口腔 b 唾液腺 c 舌、扁桃 d 咽頭、喉頭 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ③リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/08/27 (月) 4時限 14:50～16:20	平常試験 2 の解説	<p>【授業の一般目標】 神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 各器官系の構造と機能を総復習する。 3時間。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/08/28 (火) 3時限 13:10～14:40	平常試験 2 の解説	<p>【授業の一般目標】 神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、循環器系、内分泌系、感覚器系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 各器官系の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/08/28 (火) 3時限 13:10～14:40	平常試験2の解説	<p>各器官系の構造と機能を総復習する。 3時間。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 1 細胞・組織・器官の構造と機能 ウ 呼吸器・循環器系 a 気道、肺、呼吸筋 b 心臓、脈管系 a 消化管 b 肝臓、胆道、膵臓 4 頭頸部の構造 エ 頭頸部の脈管系 c リンパ系 a 口腔 b 唾液腺 c 舌、扁桃 d 咽頭、喉頭 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ③リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 ②交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能) を説明できる。 C-3-4-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 C-3-4-(8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	近藤 信太郎
2018/09/18 (火) 3時限 13:10～14:40	第1回 解剖実習 と倫理	<p>【授業の一般目標】 人体構造の知識を深めるため、解剖実習を行うが、そのための法律や倫理観など、これからの実習で「ヒトとして」とるべき行動について考え、歯科学生としてあるべき姿を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 献体について説明する。 2. 解剖に関連する法律を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：解剖に関する法律を調べておく。 ・準備学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 スライドの提示と資料配付</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 b 患者の権利</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p>	近藤 信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/18 (火) 3時限 13:10～14:40	第1回 解剖実習 と倫理	A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ③臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を説明できる。 ④医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養) ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	近藤 信太郎
2018/09/18 (火) 4時限 14:50～16:20	第1回 解剖実習 ガイダンス	【授業の一般目標】 解剖実習を行うための準備として使用する器具の確認を行う。  【行動目標(SBOs)】 1. 器具の名称と使用方法を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 生物実習で使用した器具を再確認する。 ・準備学修時間: 20分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 器具の確認  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準(主)】 その他 該当なし  【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/09/25 (火) 3時限 13:10～14:40	第2回 皮膚の構 造 後面	【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 皮膚の層状構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 組織学で学んだ表皮、真皮、皮下組織の構造を調べておく。 ・準備学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織(上皮組織、結合(支持)組織(血液を含む)、筋組織、神経組織)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/09/25 (火) 4時限 14:50～16:20	第2回 皮膚の構 造 後面	【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 皮膚の層状構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 組織学で学んだ表皮、真皮、皮下組織の構造を調べておく。 ・準備学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/25 (火) 4時限 14:50～16:20	第2回 皮膚の構造 後面	<p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織(上皮組織、結合(支持)組織(血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/01 (月) 3時限 13:10～14:40	第3回 皮膚の構造 前面	<p>【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.皮膚の層状構造を説明する。 2.頸部表情筋の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:広頸筋の構造を復習する。 ・準備学修時間:20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋&lt;表情筋&gt;</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/01 (月) 4時限 14:50～16:20	第3回 皮膚の構造 前面	<p>【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造に関する知識を、観察することにより習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.皮膚の層状構造を説明する。 2.頸部表情筋の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:広頸筋の構造を復習する。 ・準備学修時間:20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋&lt;表情筋&gt;</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/01 (月) 4時限 14:50～16:20	第3回 皮膚の構造 前面	E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/02 (火) 3時限 13:10～14:40	第4回 前面浅層 (1) 表情筋・胸部・腹部・大腿部の皮静脈	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 眼裂周囲の表情筋の構造と機能を説明する。 2. 臍部を中心とする胸腹部の皮静脈の分布を説明する。 3. 大腿部の皮静脈の分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 眼裂周囲の表情筋について調べておく。 ・準備学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋〈表情筋〉  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/02 (火) 4時限 14:50～16:20	第4回 前面浅層 (1) 表情筋・胸部・腹部・大腿部の皮静脈	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 眼裂周囲の表情筋の構造と機能を説明する。 2. 臍部を中心とする胸腹部の皮静脈の分布を説明する。 3. 大腿部の皮静脈の分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 眼裂周囲の表情筋について調べておく。 ・準備学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋〈表情筋〉  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/09 (火) 3時限 13:10～14:40	第5回 前面浅層 (2) 表情筋・胸部、腹部の筋・下肢の皮下組織	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 口裂周囲の表情筋の構造と機能を説明する。 2. 胸部の筋の構造と機能を説明する。 3. 腹部の筋の構造と機能を説明する。 4. 大腿筋膜の構造を説明する。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/09 (火) 3時限 13:10~14:40	第5回 前面浅層 (2) 表情筋・胸部、腹部の筋・下肢の皮下組織	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：口裂周囲の表情筋の走行を調べておく。</li> <li>・準備学修時間： 30 分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/09 (火) 4時限 14:50~16:20	第5回 前面浅層 (2) 表情筋・胸部、腹部の筋・下肢の皮下組織	<p>【授業の一般目標】</p> <p>皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口裂周囲の表情筋の構造と機能を説明する。</li> <li>2. 胸部の筋の構造と機能を説明する。</li> <li>3. 腹部の筋の構造と機能を説明する。</li> <li>4. 大腿筋膜の構造を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：口裂周囲の表情筋の走行を調べておく。</li> <li>・準備学修時間： 30 分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋〈表情筋〉</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/10 (水) 3時限 13:10~14:40	第6回 前面浅層 (3) 頸部の神経・胸部、腹部の中間層の筋・大腿前面の筋	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頸部の知覚神経と運動神経を説明する。</li> <li>2. 胸部、腹部中間層の筋の構造と機能を説明する。</li> <li>3. 大腿三角の構成を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：頸部の感覚神経の根となる神経と顔面神経の終枝について調べておく。</li> <li>・準備学修時間： 30 分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第3実習室、102教室</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/10 (水) 3時限 13:10～14:40	第6回 前面浅層 (3) 頸部の神経・ 胸部、腹部の中間 層の筋・大腿前面 の筋	<p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 b 脊髄神経</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p> <p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/10 (水) 4時限 14:50～16:20	第6回 前面浅層 (3) 頸部の神経・ 胸部、腹部の中間 層の筋・大腿前面 の筋	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 頸部の知覚神経と運動神経を説明する。 2. 胸部、腹部中間層の筋の構造と機能を説明する。 3. 大腿三角の構成を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：頸部の感覚神経の根となる神経と顔面神経の終枝について調べておく。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 b 脊髄神経</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p> <p>C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/15 (月) 3時限 13:10～14:40	第7回 前面浅層 (4) 舌骨下筋群・ 腹直筋・上腕皮膚・ 大腿の内転筋群	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 舌骨下筋群の構造と機能・支配神経を説明する。 2. 腹直筋の構造を説明する。 3. 内転筋群の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：頸神経ワナについて調べておく。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 d 頸筋膜 (浅葉、気管前葉、椎前葉、頸動脈鞘)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/15 (月) 3時限 13:10～14:40	第7回 前面浅層 (4) 舌骨下筋群・ 腹直筋・上腕皮膚・ 大腿の内転筋群	C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/15 (月) 4時限 14:50～16:20	第7回 前面浅層 (4) 舌骨下筋群・ 腹直筋・上腕皮膚・ 大腿の内転筋群	【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 舌骨下筋群の構造と機能・支配神経を説明する。 2. 腹直筋の構造を説明する。 3. 内転筋群の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頸神経ワナについて調べておく。 ・準備学修時間： 30 分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 d 頭筋膜 (浅葉、気管前葉、椎前葉、頸動脈鞘)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/16 (火) 3時限 13:10～14:40	第8回 背部浅層 (1) 後頭部の皮 下組織・僧帽筋・ 広背筋・殿部	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 後頭部の筋の構造と機能、神経、血管の分布を説明する。 2. 背部の筋の構造と機能を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：後頭動脈の分岐部と分布を調べておく。 ・準備学修時間： 30 分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、 消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/16 (火) 4時限 14:50～16:20	第8回 背部浅層 (1) 後頭部の皮 下組織・僧帽筋・ 広背筋・殿部	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/16 (火) 4時限 14:50~16:20	第8回 背部浅層 (1) 後頭部の皮下組織・僧帽筋・広背筋・殿部	<p>1. 後頭部の筋の構造と機能、神経、血管の分布を説明する。 2. 背部の筋の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：後頭動脈の分岐部と分布を調べておく。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/22 (月) 3時限 13:10~14:40	第9回 背部浅層 (2) 背部中層・殿部深層・上腕の皮下組織・下腿の皮下組織	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明する。 2. 殿部の深部の筋の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：坐骨神経について調べておく。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/22 (月) 4時限 14:50~16:20	第9回 背部浅層 (2) 背部中層・殿部深層・上腕の皮下組織・下腿の皮下組織	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明する。 2. 殿部の深部の筋の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：坐骨神経について調べておく。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/22 (月) 4時限 14:50～16:20	第9回 背部浅層 (2) 背部中層・ 殿部深層・上腕の 皮下組織・下腿の 皮下組織	消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/23 (火) 3時限 13:10～14:40	第10回 背部深層 (1) 脊柱起立筋・ 上腕皮下組織・大 腿屈筋群	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明する。 2. 大腿屈筋群の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 後頭下三角を構成する筋を調べておく。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、 消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/23 (火) 4時限 14:50～16:20	第10回 背部深層 (1) 脊柱起立筋・ 上腕皮下組織・大 腿屈筋群	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 背部の筋の構造と機能を説明する。 2. 大腿屈筋群の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 後頭下三角を構成する筋を調べておく。 ・準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、 消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/29 (月) 3時限 13:10～14:40	第11回 耳下腺、 顔面神経と顎関節 の構造と歯科臨床 前面浅層(6) 表 情筋と顔面神経・ 頸部深層・大腿伸 筋群	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 表情筋に分布する顔面神経を説明する。 2. 頸動脈鞘に関連する構造を説明する。 3. 大腿伸筋群の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 耳下腺神経叢とその分枝の走行を調べておく。 ・準備学修時間: 30分	近藤 壽郎 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/29 (月) 3時限 13:10~14:40	第11回 耳下腺、 顔面神経と顎関節 の構造と歯科臨床 前面浅層 (6) 表 情筋と顔面神経・ 頸部深層・大腿伸 筋群	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋 &lt;表情筋&gt;</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	近藤 壽郎 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/29 (月) 4時限 14:50~16:20	第11回 前面浅層 (6) 表情筋と顔 面神経・頸部深層・ 大腿伸筋群	<p>【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 表情筋に分布する顔面神経を説明する。 2. 頸動脈鞘に関連する構造を説明する。 3. 大腿伸筋群の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：耳下腺神経叢とその分枝の走行を調べておく。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋 &lt;表情筋&gt;</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/30 (火) 3時限 13:10~14:40	第12回 深層の構 造 (1) 側頭部・ 腕神経叢	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 側頭部の感覚神経を説明する。 2. 側頭筋の構造と機能を説明する。 3. 斜角筋群と腕神経叢を説明する。 4. 腕神経叢の構造と分布を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：側頭筋について調べておく。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/30 (火) 3時限 13:10～14:40	第12回 深層の構造 (1) 側頭部・腕神経叢	E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/10/30 (火) 4時限 14:50～16:20	第12回 深層の構造 (1) 側頭部・腕神経叢	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 側頭部の感覚神経を説明する。 2. 側頭筋の構造と機能を説明する。 3. 斜角筋群と頸神経叢を説明する。 4. 腕神経叢の構造と分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：側頭筋について調べておく。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/05 (月) 3時限 13:10～14:40	第13回 深層の構造 (2) 耳下腺神経叢・開腹・上腕屈筋群・膝関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 耳下腺の構造と顔面神経の関係を説明する。 2. 腹膜の構造を説明する。 3. 上腕屈筋群の構造と機能を説明する。 4. 膝関節の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顔面神経の走行を調べておく。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 b 唾液腺  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/05 (月) 4時限 14:50～16:20	第13回 深層の構造 (2) 耳下腺神経叢・開腹・上腕屈筋群・膝関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 耳下腺の構造と顔面神経の関係を説明する。 2. 腹膜の構造を説明する。 3. 上腕屈筋群の構造と機能を説明する。 4. 膝関節の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顔面神経の走行を調べておく。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/05 (月) 4時限 14:50～16:20	第13回 深層の構造(2) 耳下腺神経叢・開腹・上腕屈筋群・膝関節	ご遺体による実習 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 b 唾液腺 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/06 (火) 3時限 13:10～14:40	第14回 深層の構造(3) 咀嚼筋・顔面皮下の動脈と神経・舌骨上筋・上腕伸筋・足底	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 口腔底の筋の構造と機能を説明する。 2. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明する。 3. 顔面動脈の分布を説明する。 4. 皮膚に分布する三叉神経の枝の分布を説明する。 5. 上腕伸筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顔面皮膚に分布する三叉神経の枝を調べる。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/06 (火) 4時限 14:50～16:20	第14回 深層の構造(3) 咀嚼筋・顔面皮下の動脈と神経・舌骨上筋・上腕伸筋・足底	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 口腔底の筋の構造と機能を説明する。 2. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明する。 3. 顔面動脈の分布を説明する。 4. 皮膚に分布する三叉神経の枝の分布を説明する。 5. 上腕伸筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顔面皮膚に分布する三叉神経の枝を調べる。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/06 (火) 4時限 14:50～16:20	第14回 深層の構造(3)咀嚼筋・顔面皮下の動脈と神経・舌骨上筋・上腕伸筋・足底	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4)-(3) 筋組織と筋系</p> <p>③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。</p> <p>④頭頸部の脈管系を説明できる。</p> <p>⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/12 (月) 3時限 13:10～14:40	平常試験3 (第15回) 実習試験 (筆記試験を含む)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全身の構造を説明する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 頭頸部の構造を説明する。</p> <p>2. 胸腹部の構造を説明する。</p> <p>3. 体枝の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：これまでに実習で学習したことを復習する。</p> <p>・準備学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 無</p> <p>ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4)-(3) 筋組織と筋系</p> <p>③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系</p> <p>②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(5) 神経系</p> <p>①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/12 (月) 4時限 14:50～16:20	平常試験3 (第15回) 実習試験 (筆記試験を含む)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全身の構造を説明する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 頭頸部の構造を説明する。</p> <p>2. 胸腹部の構造を説明する。</p> <p>3. 体枝の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：これまでに実習で学習したことを復習する。</p> <p>・準備学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 無</p> <p>ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p> <p>C-3 人体の構造と機能</p> <p>C-3-4 身体を構成する組織と器官</p> <p>C-3-4)-(3) 筋組織と筋系</p> <p>③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系</p> <p>②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p> <p>C-3-4)-(5) 神経系</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/12 (月) 4時限 14:50～16:20	平常試験3 (第15回) 実習試験 (筆記試験を含む)	①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/14 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験3 (第15回) 試験の解説講義 振替日: 11月12日 (月) 15:00-16:00	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体枝の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: これまでに実習で学習したことを復習する。 ・準備学修時間: 180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する解説講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/14 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験3 (第15回) 試験の解説講義 振替日: 11月12日 (月) 15:00-16:00	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体枝の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: これまでに実習で学習したことを復習する。 ・準備学修時間: 180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する解説講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4-(5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/19 (月) 3時限 13:10～14:40	第16回 深層の構造 (4) 耳下腺神経叢・咀嚼筋・開胸・腹腔動脈・下腿伸筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 耳下腺内部の耳下腺神経叢の構造を説明する。 2. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明する。 3. 胸部内臓の位置関係を説明する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/19 (月) 3時限 13:10~14:40	第16回 深層の構造 (4) 耳下腺神経叢・咀嚼筋・開胸・腹腔動脈・下腿伸筋	<p>4. 腹腔動脈の枝の分布を説明する。 5. 下腿伸筋の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：耳下腺内部の耳下腺神経叢の構造を調べる。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/19 (月) 4時限 14:50~16:20	第16回 深層の構造 (4) 耳下腺神経叢・咀嚼筋・開胸・腹腔動脈・下腿伸筋	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 耳下腺内部の耳下腺神経叢の構造を説明する。 2. 咬筋と側頭筋の構造と機能を説明する。 3. 胸部内臓の位置関係を説明する。 4. 腹腔動脈の枝の分布を説明する。 5. 下腿伸筋の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：耳下腺内部の耳下腺神経叢の構造を調べる。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/20 (火) 3時限 13:10~14:40	第17回 深層の構造 (5) 耳下腺神経叢・肺・腸間膜・下腿屈筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 耳下腺内部の耳下腺神経叢の構造を説明する。 2. 肺の構造を説明する。 3. 腸間膜内部の血管の分布を説明する。 4. 下腿屈筋群浅層の構造と機能を説明する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/20 (火) 3時限 13:10～14:40	第17回 深層の構造 (5) 耳下腺神経叢・肺・腸間膜・下腿屈筋群	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：腸間膜の構造を調べる。</li> <li>・準備学修時間： 30 分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>1 0 2 教室、第3 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/20 (火) 4時限 14:50～16:20	第18回 深層の構造 (5) 耳下腺神経叢・肺・腸間膜・下腿屈筋群	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 耳下腺内部の耳下腺神経叢の構造を説明する。</li> <li>2. 肺の構造を説明する。</li> <li>3. 腸間膜内部の血管の分布を説明する。</li> <li>4. 下腿屈筋群浅層の構造と機能を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：腸間膜の構造を調べる。</li> <li>・準備学修時間： 30 分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>1 0 2 教室、第3 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/26 (月) 3時限 13:10～14:40	第18回 深層の構造 (6) 脳・門脈・胃・前腕屈筋群・下腿神経、血管	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 頭蓋冠の構造を説明する。</li> <li>2. 脳表面の構造を説明する。</li> <li>3. 門脈の構造を説明する。</li> <li>4. 胃の構造を説明する。</li> <li>5. 前腕屈筋群の構造と機能を説明する。</li> </ol>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/26 (月) 3時限 13:10～14:40	第18回 深層の構造(6) 脳・門脈・胃・前腕屈筋群・下腿神経、血管	6. 下腿深層の神経と血管の分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：脳神経が脳から出る部位と頭蓋底を通過する部位を復習する。 ・準備学修時間： 30 分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/26 (月) 4時限 14:50～16:20	第18回 深層の構造(6) 脳・門脈・胃・前腕屈筋群・下腿神経、血管	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 頭蓋冠の構造を説明する。 2. 脳表面の構造を説明する。 3. 門脈の構造を説明する。 4. 胃の構造を説明する。 5. 前腕屈筋群の構造と機能を説明する。 6. 下腿深層の神経と血管の分布を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：脳神経が脳から出る部位と頭蓋底を通過する部位を復習する。 ・準備学修時間： 30 分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/27 (火) 3時限 13:10～14:40	第19回 深層の構造(7) 脳硬膜・上縦隔・肝臓・腹部消化管・手掌	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 脳硬膜の構造を説明する。 2. 心臓に出入りする血管の構造を説明する。 3. 手掌の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/27 (火) 3時限 13:10～14:40	第19回 深層の構造(7) 脳硬膜・上縦隔・肝臓・腹部消化管・手掌	<p>・準備学修項目：反回神経の分布を調べる。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。 C-3-4)-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/11/27 (火) 4時限 14:50～16:20	第19回 深層の構造(7) 脳硬膜・上縦隔・肝臓・腹部消化管・手掌	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 脳硬膜の構造を説明する。 2. 心臓に出入りする血管の構造を説明する。 3. 手掌の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：反回神経の分布を調べる。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4)-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。 C-3-4)-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/12/03 (月) 3時限 13:10～14:40	第20回 各器官の構造(1) 脳・頸部離断・脊柱起立筋・肝臓	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 脳内部の構造を説明する。 2. 肝臓の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：脳の深部構造と機能を調べる。 ・準備学修時間：30分</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/03 (月) 3時限 13:10～14:40	第20回 各器官の構造 (1) 脳・頸部離断・脊柱起立筋・肝臓	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/12/03 (月) 4時限 14:50～16:20	第20回 各器官の構造 (1) 脳・頸部離断・脊柱起立筋・肝臓	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 脳内部の構造を説明する。 2. 肝臓の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 脳の深部構造と機能を調べる。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/12/04 (火) 3時限 13:10～14:40	第21回 各器官の構造 (2) 咽頭後壁・脊髄・腸管・手掌	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭後壁の構造を説明する。 2. 脊髄の構造を説明する。 3. 小腸・大腸の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 交感神経、迷走神経、舌咽神経の頸部における分布を調べる。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 伊藤 泰司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/04 (火) 3時限 13:10～14:40	第21回 各器官の構造 (2) 咽頭後壁・脊髄・腸管・手掌	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 C-3-4)-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 伊藤 泰司
2018/12/04 (火) 4時限 14:50～16:20	第21回 各器官の構造 (2) 咽頭後壁・脊髄・腸管・手掌	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭後壁の構造を説明する。 2. 脊髄の構造を説明する。 3. 小腸・大腸の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：交感神経、迷走神経、舌咽神経の頸部における分布を調べる。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(5) 神経系 ④脳と脊髄の構造と機能 (運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。 C-3-4)-(7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 伊藤 泰司
2018/12/10 (月) 3時限 13:10～14:40	第22回 喉頭の構造と発音に関連する構造 各器官の構造 (3) 咽頭腔、心臓・腭臓・前腕屈筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭と交通する鼻腔、口腔、喉頭、食道との関係を説明する。 2. 心臓に出入りする血管の構造を説明する。 3. 十二指腸と膵臓の関係を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：心臓の構造を調べる。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 C 生命科学</p>	河相 安彦 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/10 (月) 3時限 13:10～14:40	第22回 喉頭の構造と発音に関連する構造 各器官の構造 (3) 咽頭腔、心臓・腭臓・前腕屈筋群	C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ③膵臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ⑧構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。	河相 安彦 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/12/10 (月) 4時限 14:50～16:20	第22回 各器官の構造 (3) 咽頭腔、心臓・腭臓・前腕屈筋群	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 咽頭と交通する鼻腔、口腔、喉頭、食道との関係を説明する。 2. 心臓に出入りする血管の構造を説明する。 3. 十二指腸と膵臓の関係を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 心臓の構造を調べる。 ・準備学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ①咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ③膵臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/12/11 (火) 3時限 13:10～14:40	第23回 摂食嚥下の統合演習	【授業の一般目標】 解剖学と生理学のつながりを学ぶ。  【行動目標 (SBOs)】 1. 摂食嚥下の構造と機能を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 咀嚼と嚥下に働く筋の起始・停止を調べる。咀嚼筋のはたらきを調べる。嚥下の機序を調べる。 ・準備学修時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 グループ討論  【学修方略 (LS)】 演習  【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 ⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 吉垣 純子 野本 たかと 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 加藤 治 横山 愛 遠藤 真美 矢口 学
2018/12/11 (火) 4時限	第23回 摂食嚥下の統合演習	【授業の一般目標】 解剖学と生理学のつながりを学ぶ。	近藤 信太郎 吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
14:50～16:20	第23回 摂食嚥下の統合演習	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 摂食嚥下の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：咀嚼と嚥下に働く筋の起始・停止を調べる。咀嚼筋のはたつきを調べる。嚥下の機序を調べる。</li> <li>・準備学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 グループ討論</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第2実習室、第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 ⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。</p>	野本 たかと 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子 加藤 治 横山 愛 遠藤 眞美 矢口 学
2018/12/17（月） 3時限 13:10～14:40	第24回 顎骨の臨床解剖学 各器官の構造（4） 口腔・鼻腔・後縦隔・腎臓・前腕屈筋群	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 口腔の構造と機能を説明する。 2. 鼻腔の構造と機能を説明する。 3. 後縦隔に存在する脈管系、神経の分布を説明する。 4. 腎臓・副腎の形態を説明する。 5. 前腕屈筋の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：舌下腺と顎下腺管、舌神経との関係を調べる。</li> <li>・準備学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。</p>	大峰 浩隆 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/12/17（月） 4時限 14:50～16:20	第24回 各器官の構造（4） 口腔・鼻腔・後縦隔・腎臓・前腕屈筋群	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 口腔の構造と機能を説明する。 2. 鼻腔の構造と機能を説明する。 3. 後縦隔に存在する脈管系、神経の分布を説明する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/17 (月) 4時限 14:50～16:20	第24回 各器官の構造 (4) 口腔・鼻腔・後縦隔・腎臓・前腕屈筋群	<p>4. 腎臓・副腎の形態を説明する。 5. 前腕屈筋の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：舌下腺と顎下腺管、舌神経との関係を調べる。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/12/18 (火) 3時限 13:10～14:40	第25回 顎運動各器官の構造 (5) 下顎骨、眼瞼・心臓・後腹壁・手背	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎骨の構造を説明する。 2. 眼瞼や眼球の付属器の構造を説明する。 3. 心臓内部の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：下歯槽神経の歯髄への枝を調べる。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	小見山 道 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2018/12/18 (火) 4時限 14:50～16:20	第25回 各器官の構造 (5) 下顎骨、眼瞼・心臓・後腹	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	壁・手背	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下顎管の構造を説明する。</li> <li>2. 眼瞼や眼球の付属器の構造を説明する。</li> <li>3. 心臓内部の構造を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：下歯槽神経の歯髄への枝を調べる。</li> <li>・準備学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	五十嵐 由里子
2019/01/15 (火) 3時限 13:10～14:40	第26回 歯科インプラントの臨床解剖 各器官の構造（6） 顎関節、顎動脈、軟口蓋・肺・腎臓、後腹壁・下腿屈筋群	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎関節の構造を説明する。</li> <li>2. 顎動脈の分布を説明する。</li> <li>3. 軟口蓋の構造と機能を説明する。</li> <li>4. 肺の構造を説明する。</li> <li>5. 腎臓の構造と機能を説明する。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備学修項目：顎関節の構造を復習する。</li> <li>・準備学修時間：30分</li> </ul> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 エ 頭頸部の脈管系 a 動脈計</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。</p>	村上 洋 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/15 (火) 4時限 14:50～16:20	第26回 各器官の構造（6） 顎関節、軟口蓋・肺・腎臓、後腹壁・	<p>【授業の一般目標】</p> <p>各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/15 (火) 4時限 14:50～16:20	下腿屈筋群	<p>1. 顎関節の構造を説明する。 2. 顎動脈の分布を説明する。 3. 軟口蓋の構造と機能を説明する。 4. 肺の構造を説明する。 5. 腎臓の構造と機能を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：顎関節の構造を復習する。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 エ 頭頸部の脈管系 a 動脈計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/21 (月) 3時限 13:10～14:40	第27回 鼻腔の臨床解剖 各器官の構造（7） 外頸動脈、上顎洞、 翼口蓋窩・腭臓・ 脾臓・外生殖器・ 前腕屈筋群	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 翼口蓋窩の構造と通過する神経、血管の分布を説明する。 2. 外頸動脈の枝を説明する。 3. 上顎洞と周囲の神経・血管の構造を説明する。 4. 腭臓・脾臓の構造を説明する。 5. 骨盤外の生殖器の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：上顎神経の走行を調べる。 ・準備学修時間： 30 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ③脾臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (9) 内分泌系とホメオスタシス</p>	丹羽 秀夫 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/21 (月) 3時限 13:10~14:40	第27回 鼻腔の臨床解剖 各器官の構造 (7) 外頸動脈、上顎洞、翼口蓋窩・腭臓・脾臓・脾臓・外生殖器・前腕屈筋群	①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4) - (11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	丹羽 秀夫 近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/21 (月) 4時限 14:50~16:20	第27回 各器官の構造 (7) 外頸動脈、上顎洞、翼口蓋窩・腭臓・脾臓・外生殖器・前腕屈筋群	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 翼口蓋窩の構造と通過する神経、血管の分布を説明する。 2. 外頸動脈の枝を説明する。 3. 上顎洞と周囲の神経・血管の構造を説明する。 4. 腭臓・脾臓の構造を説明する。 5. 骨盤外の生殖器の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：上顎神経の走行を調べる。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ③脾臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-3-4) - (11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/22 (火) 3時限 13:10~14:40	第28回 各器官の構造 (8) 翼突下顎縫線、顔面神経管、眼窩・喉頭・内生殖器・手掌	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 眼筋と支配神経を説明する。 2. 翼突下顎縫線の構造を説明する。 3. 喉頭の構造と機能を説明する。 4. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：翼突下顎縫線について調べる。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋 <表情筋>  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/22 (火) 3時限 13:10～14:40	第28回 各器官の構造 (8) 翼突下顎縫線、顔面神経管、眼窩・喉頭・内生生殖器・手掌	②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4-(10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/22 (火) 4時限 14:50～16:20	第28回 各器官の構造 (8) 翼突下顎縫線、顔面神経管、眼窩・喉頭・内生生殖器・手掌	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 眼筋と支配神経を説明する。 2. 翼突下顎縫線の構造を説明する。 3. 喉頭の構造と機能を説明する。 4. 骨盤内部の泌尿器、生殖器の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：翼突下顎縫線について調べる。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋 (表情筋)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4-(10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4-(11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/24 (木) 3時限 13:10～14:40	第29回 各器官の構造 (9) 頭部特殊感覚器・椎間円板・体関節	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 内耳の構造を説明する。 2. 眼球の構造を説明する。 3. 椎間円板の構造を説明する。 4. 肩関節の構造を説明する。 5. 肘関節の構造を説明する。 6. 手根関節の構造を説明する。 7. 股関節の構造を説明する。 8. 足根関節の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：平衡感覚器の構造を調べる。 ・準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/24 (木) 3時限 13:10～14:40	第29回 各器官の構造 (9) 頭部特殊感覚器・椎間円板・体肢関節	<p>消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/24 (木) 4時限 14:50～16:20	第29回 各器官の構造 (9) 頭部特殊感覚器・椎間円板・体肢関節	<p>【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 内耳の構造を説明する。 2. 眼球の構造を説明する。 3. 椎間円板の構造を説明する。 4. 肩関節の構造を説明する。 5. 肘関節の構造を説明する。 6. 手根関節の構造を説明する。 7. 股関節の構造を説明する。 8. 足根関節の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 平衡感覚器の構造を調べる。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 ご遺体による実習</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第3実習室、102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(2) 支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/30 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験4 (第30回) 実習試験 (筆記試験を含む) 振替時間: 13:00-14:30	<p>【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体肢の構造を説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: これまでの講義、実習で学んだ内容を総復習する。感想文を作成する。(試験開始前に提出) ・準備学修時間: 180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4)-(3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/30 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験4 (第30回) 実習試験 (筆記試験を含む) 振替時間: 13:00-14:30	C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 C-3-4) (6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/30 (水) 3時限 13:10～14:40	平常試験4 (第30回) 実習試験 (筆記試験を含む)	【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体肢の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: これまでの講義、実習で学んだ内容を総復習する。感想文を作成する。(試験開始前に提出) ・準備学修時間: 180分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 C-3-4) (6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4) - (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/30 (水) 4時限 14:50～16:20	平常試験4 (第30回) 試験の解説講義	【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を説明する。 2. 胸腹部の構造を説明する。 3. 体肢の構造を説明する。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: これまでの講義、実習で学んだ内容を総復習する。 ・準備学修時間: 180分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/30 (水) 4時限 14:50～16:20	平常試験4 (第30回) 試験の解説講義	<p>e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (3) 筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4) - (4) 血液・リンパと循環器系 ②血液循環 (肺循環、体循環及び胎児循環) の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4) - (5) 神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 C-3-4) - (6) 感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 C-3-4) (7) 消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓 (外分泌部と内分泌部) の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (8) 呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (10) 泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 C-3-4) - (11) 生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子
2019/01/31 (木) 4時限 14:50～16:20	納棺 (第30回) 振替日: 1月30日 (水) 14:30-16:10	<p>【授業の一般目標】 解剖実習を通じて学んだ人体構造に関する知識と倫理観を再確認する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 献体を説明する。 2. 人間の尊厳を説明する。 3. 生と死について説明する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 献体、人間の尊厳、生と死について復習しておく。ご遺体にご供える花束を準備しておく。 ・準備学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 納棺、清掃をすることから倫理観を考え直す。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室、第3実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ③臨床 (生と死に関わる問題を含む) に関する倫理的問題を説明できる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。</p>	近藤 信太郎 佐々木 佳世子 松野 昌展 五十嵐 由里子